

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年3月12日

教習市立子ども発達支援センター パラレル 保育所等訪問支援事業所

利用児童数

33

回収数

26

	チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	17	9		<ul style="list-style-type: none"> ・行事への参加の仕方など迷いながら進めていくことが多い現状だ。そのようなときに、支援員と話をし、言葉にすることで職員間でも共有でき、自信をもって進めていくことができた。 ・日々、保育している私たちの子どもを見る視点と相違があることもある。訪問(参観)終了後、少しの時間でも良いので話し合う時間が待てればと思っている。 ・個別対応に関しては取り組みやすいが、集団に変換することが難しい。 ・具体的なケースに合わせた対応を共有することができて役立っている。 ・親身になって話を聞いてくれるので話やすく相談しやすい。 ・話をする時間もなく、特に助言等がないように感じた。 ・一人一人の発達・姿に応じて助言があるので大変分かりやすい。 ・スケジュールボードの具体的な取り入れ方を教えてもらったので実践できた。 ・具体的な支援の方法を知ることができ、わかりやすかった。 ・助言はありがたいが、保育運営については保育園に任せてほしい。 	・訪問時または別日に可能な限り話し合う時間を取り入れていきたい。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	14	12		<ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者の学校外での様子をうかがえるので助かっている。参考になる関わり方や効果的な方法など情報を共有できてありがたい。 ・助言というよりは児童の学校の様子を見に来ているという感じだった。互いに情報共有をした。 ・自分たちが気付かなかった援助の仕方・環境設定などを教えてもらった。 ・様々な支援の方法や助言をもらった。 	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	20	6		<ul style="list-style-type: none"> ・いつも暖かく対応してくれる。 ・児童の行動(気がかりな行動)について質問した際に丁寧に答えてくれた。 ・行事における参加の仕方、日々の生活の中で困っていることなどの質問に答えてもらった。 ・こどもの姿に応じてアドバイスをもらった。 ・担当保育士の悩み、質問に丁寧な対応だった。 	

4	<p>保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。</p>	10	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を明確にし、取り組むべきことをはっきりさせることができた。 ・ケース的にすぐに解消されるものではないが、いろいろな意見を聞くことができる。 ・支援員の先生と課題を共有できることで少しずつ軽減され始めている。 ・療育にこれまで関わってこなかった。利用してこなかった児童・家庭に対して有効だと思う。 ・家庭について、より知ることができた。良かった。 ・長期的に見ていかなければならないものが多いので解消・軽減は今のところないように思う。 ・適切でわかりやすい助言のおかげで取り入れやすく、子供も安心できるようになっている。 ・解消や軽減までは難しい。 	<p>・訪問先と連携しながら、少しでも課題や困りごとが軽減できるように具体的な支援について検討していきたい。</p>
5	<p>事業所からの支援に満足していますか。</p>	15	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもたくさん教えてもらい、的確な助言に感謝する。 ・定期的な訪問により、普段接している保育士より成長の度合いが見えており、教えてもらえる。 ・訪問回数をもう少し増やしてほしい。 ・何より児童はいつも「今日はパラレル？」と楽しみにしているのがありがたい。 ・継続的に相談先として今後も利用したい。 ・事業所での様子を詳しく教えてくれるのでありがたい。 ・困りごとがあったときに対応してもらったり、定期的に訪問してもらい、子どもたちの様子を常に見てもらいたい。 ・施設での様子も聞くことができるのは良い。 	
<p>其他のご意見</p>					<p>ご意見を踏まえた対応</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援員とのやり取りがなかったため、評価は難しい。年度初めに「保育所等訪問支援」を受ける児童について教えてもらえると評価できると思う。 ・対応に苦慮する児童にも丁寧に対応してもらい、感謝している。 ・パラレルを利用している児童の連絡会が4月に開かれ、パラレルでどんなことをしているのかわることができ、大変、有意義だった。 ・担当者会議で関係する方々が一堂に会する機会はとてもありがたい。保護者を交えての話の前に療育機関と園のみで情報の共有や今後の方向性をあらかじめ話し合う時間を持つことができるとより良かったかなと感じた。 ・パラレルでの支援計画、目標また、支援の具体的な内容を教えてもらい、保育園においても支援ができればと思う。 ・保育だけではなく、運動会等の行事も訪問してくれて、普段との違いを指摘してもらえて参考になる。 ・当園は、3歳以上児においては療育を受けている子どもがおり、保護者との連携が取りにくい家庭が見られる。パラレル・園・保護者とが互いに共有できる「場づくり」を希望する。 ・いただいたアドバイスを集団に変換させることが難しく不安になる。園からの訪問を含め、回数アップを望む。 ・学校から希望がある場合、そもそも当事者のことを知らないこともあり、相談できていないケースもあるかもしれない。基本的には名前が挙がっている児童や相談が保護者からあった場合に学校も声をかけてくれていると思うが、相互的に働きかけができることさらに良くなると思う。 ・夏休み中に1回15分程度話をした。児童が落ち着いて過ごしているため、支援員から助言をもらうことはなく、互いの様子を伝える程度で終わったので評価は「どちらともいえない」になった。本人が学校やパラレルで落ち着いて過ごしているので長期休業中に情報交換をする形で十分だ。 ・訪問日でも別日でも良いから支援員と話す時間があると良い。事業所や学校での様子を伝え合い、どのような支援をしていくのが考える時間があると良い。 ・日々、職員間で相談しながら子供たちと関わっているが、どうすれば安心して生活ができるの 					<ul style="list-style-type: none"> ・保育所訪問対象の児童・園児に対して、年度初め又は利用初めに情報の共有、個別支援計画、支援方法について話し合う機会を設けていけるようにしていきたい。 ・保護者・訪問先・事業所の三社の連携を取っていき、利用する子どもたちが安心できる集団の場を検討していけるように努めていきたい。 	

か集団の中でどのように参加していくことがより良いのか不安に思う。

- ・園での子供たちの様子を見ながら、一人一人に応じた支援を教えてもらい、職員の課題、改善策など大きな気付きにつながっている。子供たちにとって居心地の良い園生活を送れるよう努めたい。
- ・対象の子だけでなく、クラス全体の運営について助言をもらったので、普段の保育に取り入れることができよかった。
- ・施設で使用している絵カードなどを実際に見せてもらえるとうありがたい。もしくは、施設を見学できると実際の支援方法をより具体的にすることができる。
- ・訪問支援は年度初めのみだったが、敦賀市役所子ども家庭相談室の河端臨床心理士を通して支援を必要としている児童の情報をもらい、それを踏まえて支援している。
- ・パラレル等の療育を受けたうえで児童クラブで支援していくのが望ましい姿だと思う。
- ・療育の必要な児童の保護者への「療育の必要性」を強く推し進めて理解へと導いていただきたい。
- ・子どもの活動があるので訪問時間を11時30分までとしてほしい。